

## 議員提出議案の概要及び処理結果

6月定例会では、意見書2件、決議1件がそれぞれ提出されました。その要旨と議決結果は次のとおりとなっています。

なお、可決された意見書等については、その趣旨の実現へ向けた速やかな対応を求めるため、国・沖縄県へ直訴要請を行いました。

宮古・八重山活断層監視網の早期構築を求め  
る意見書

沖縄県の、「沖縄県地震被害想定調査報告書」の中で、八重山地域への津波による石垣市の被害状況を見てみると、約600名の死傷者と6700棟の建物が全半壊すると被害想定が出されている。

大地震及び大津波を引き起こす海底活断層の監視体制は、日本列島に8か所設置されているが、現在の地震予測は、南海トラフに集中して議論されておき、南西諸島地域は観測の空白地帯となっている。

県の報告書では、大規模地震を起こす可能性の高いのは、宮古・八重山諸島地域の「八



管内閣官房長官へ宮古・八重山活断層監視網の構築を求める要請

重山諸島南方沖地震3連動」と想定されている。

八重山諸島においては、9000人余の死者行方不明者を出した明の大津波からすでに24年が経過しており、同規模の大津波と津波がいつ発生してもおかしくない時期にきている。

よって当市議会は、大地震及び津波発生時の市民への被害を最小限にするため、早期の地震予兆の把握及び警告・警報ができる活断層監視網の早期構築を要請する。

○提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

(結果) 全会一致で可決

漁船保全修理施設の拡  
充整備を求める意見書

八重山漁協が管理運営している漁船保全修理施設は、昭和62年に国の補助事業で整備された大型(140メートル未満)の船舶の各種検査や保全修理を行うことが出来る唯一の施設であるが、同施設を利用しての船舶は漁船のみならず、八重山諸島の海上公共交通である離島航路事業者の高速旅客船や貨客船も利用している。

近年、漁船の大型化や高機能化、観光客の増加に伴う、高速旅客船・貨客船の増加や大型化、高稼働率が進んでいるが、同施設が狭間で老朽化も進んでいることから、各種検査や保全修理の予定が組めず長期間待機を余儀なくされ

沖縄本島や九州の造船所等の施設での各種検査や保全修理を行う場合もあり、離島航路事業者は多額の費用負担と運営に苦慮しており、漁船の保全修理や検査等にも影響が出ている。

よって当市議会は、同施設の早期の拡充整備を強く求める。

○提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄総合事務局長、沖縄県知事

(結果) 全会一致で可決

国道・県道のバス停  
への上屋設置を求め  
る要請決議

石垣市には現在12のバス路線があり、児童生徒や高齢者をはじめ観光客の交通手段として必要不可欠な公共交通機関であります。バス停の総数は246ヶ所あり、そのうち上屋が整備されているバス停は27ヶ所に留まっています。

本市は、夏のシーズンともなると日常的に気温30度以上の真夏日を記録し、年間降水量は2000ミリを超え、上



高齢者の利用も多く、上屋設置要望が高い徳洲会病院前バス停

屋のないバス停では雨風をしのぐことや、強い日差しをさけることもできず熱中症等の危険性があり、中には地面に降り込んでバスを待つ生徒や高齢者も見受けられます。

今後とも沖縄県が路線バスのさらなる利用を促進する「わったりバス」運動の拡大や、高齢者の免許返納、さらには国内外からの観光客の増加が予想されます。

よって、当市議会は国道・県道のバス停への上屋設置の整備を早急に進めていただきたいと思いますよう強く要請いたします。

○提出先 国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄県知事

(結果) 全会一致で可決



老朽化の進む漁船保全修理施設